

今年度は、南越前町内の小学校4校・中学校1校のうち、3校の小学校へ訪問させていただきました。今回は、町として共通の取組の他、学校規模や地域に合わせたそれぞれの取組をご紹介します。

南越前町 小学校での取組

★町全体での取組★

- 郡陸上記録会 → **郡スポーツフェスタ** スポーツ等を通して児童の交流を目的とした行事
運動の得意・不得意にかかわらず「楽しむこと」に主眼
令和4年度より統廃合で中学校が町内に1校に
→小5～6のうちに他校と交流できていることで、
スムーズな中学校生活へ
- 町費の講師配置により複式学級でも単学年での授業が可能に(国語・算数など)
- 校務支援システムの活用により会議の精選・ペーパーレス化



湯尾小学校

全児童を全職員で ～担任の負担感軽減と子どもが育つ環境づくり～

- 🌸 **道徳** 無担や担任交換で担任以外の授業も設定 (お互いに見合うきっかけにも)
- 🌸 **体育** 2学年ずつ(1・2年、3・4年、5・6年)で実施 (少人数のため、集団競技を楽しめるきっかけづくりにも)
- 🌸 **クラブ** 活動内容・数の見直し: 子どもたちが「やりたい!」と思えるものを計画
- 🌸 **地域+学校で体育祭の共同開催** (午前:学校の種目 午後:地域の種目 プログラムの工夫を地域へ提案)
 - 画用紙等の一括購入で「学級費」の集金 廃止 (調理実習等金額が変動するもののみ実費集金を継続)
 - 通知表 所見欄の見直し (例:小3・4外国語の所見を総合所見の欄に記入など)

先生みんなで見るから
子どもたちは楽しくて安心
先生にはゆとりと安心感

河野小学校

教職員の自主性を大切に 地域と共に子どもを育てる

- 🌸 小規模校で教員数少数…協働が大切→「笑いの絶えない職員室」を目指した学校へ 教員の学び合い・語り合い重視
情報共有方法の工夫により、全教職員が同じ情報を把握している状況を作る
- 🌸 学習発表の方法の見直しを検討
「しおかぜ集会」(体育館で学年ごと順番に発表) → 「しおかぜ発表会」(各学年の裁量・発表しやすい場所で)
事前に運び込み等準備多い・寒い体育館で待機必要 → 音楽室、理科室、教室など発表種類に応じて事前準備可能
- 🌸 教職員が利用する各種データの格納フォルダリンクを整理、リンク集を作成 (探し物の時間縮減)
- ★河野村のころから、地域に大切に育ててもらった小学校 最近はクマの目撃も多いため見守りが重要
スクールバス乗り場の見守り・地域と合同の体育祭



南条小学校

心理的安全性と納得感 全教職員が主体的な学校づくり

- 🌸 **全員の主体性を大切に業務改善を実施**
 - ① **意見の吸い上げ** 会議で提案後自由記入のWordファイルを準備し共有 全教職員 無記名・自由記入方式
 - ② **企画委員会で回答** 書かれた意見すべてに対し可否検討
 - ③ **できるものから実行** 見直し後も引き続きアンケート継続→①へ
- 【実際に寄せられた意見から見直しが実施された例】
 - 「〇〇カード」と名の付く物の全体把握と統廃合
見える化のために作られたカードがどんどん分掌や教科等によって増えてしまっていた現状があった
例)目の健康のためのカード メディア利用状況を把握するカード どちらにも共通する項目設定があった→統合
 - 成績関連 所見欄作成時期の見直し 道徳・総合・外国語:夏・冬の長期休業中に作業
 - 副教材・ワーク類の見直し 紙ドリル→eライブラリ (反復の必要な計算ドリル・漢字ドリルは従前のものを残した)
- 🌸 **おたよりに載せるべき共通項目の各分掌からの提供**
各学年で作成しないことで表現の差異が出ず、学校としてブレのない発信→問い合わせ件数 減少
【例】プール学習に関するお知らせ:体育主任から提供
- 🌸 **校時表の見直し:クラブ・委員会を含めて6校時まで**に収める
授業時数を再度見直し、1コマ削減、クラブ・委員会を含めても6校時で完了し児童の下校が可能になるよう計画
- 🌸 **体育大会 開催時間見直し** PTAの意見も参考に午前開催 時期は熱中症対策+隣の南越前中と調整

繰り返すことで意見の精度も向上
少しでも叶えられると前向きに!

意識していますか?「学校・教師が担う業務に係る3分類」

今一度、日ごろから業務の見直し・改善の参考にしてみましょう!

基本的には学校以外が担うべき業務

- ①登下校に関する対応
- ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応
- ③学校徴収金の徴収・管理
- ④地域ボランティアとの連絡調整

学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務

- ⑤統計・調査等への回答等
- ⑥児童生徒の休み時間における対応
- ⑦校内清掃
- ⑧部活動

教師の業務だが、負担軽減が可能な業務

- ⑨給食時の対応
- ⑩授業準備
- ⑪学習評価や成績処理
- ⑫学校行事の準備・運営
- ⑬進路指導
- ⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応

3分類の中の14項目についての詳細は、文部科学省ホームページに掲載されています。リンク先で、それぞれの法的根拠や考えられる対応策、他自治体での取組例を見ることができます。

中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会(第2回):文部科学省
→【資料3】「学校・教師が担う業務に係る3分類」更なる役割分担・適正化の推進に向けた取組みについて(PDF)を参照してください。

Click!

■編集後記■

そろそろ次の年度へ向けての準備が始まる時期かと思えます。今年度できたことの振り返り、来年度の取組目標の設定へ向けて、ぜひGGKニュースもご活用ください。
今年度は「伴走支援」も併せて行っていますのでお声かけください★

